

チームオレンジめぬま

【基本情報】

市町村名	熊谷市	人口	19.1万人
担当部署	福祉部長寿いきがい課		
担当部署	048-524-1111	chojuikigai@city.kumagaya.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症になっても住み慣れた「縁むすび」の町妻沼圏域で安心して楽しく暮らせる様に助け合うネットワーク作りと共にサポーターも新たな発見や気づきを一緒に喜び合う

【活動内容】

活動日時・活動頻度
(1) 定例会：隔月第2火曜日9：30～11：30
(2) 認知症カフェ（オレンジカフェ）：年3回（6月10月3月）、出張オレンジカフェ：ご要望に応じ適宜
(3) 認知症サポーター養成講座への協力：年に1回位
(4) 認知症とあゆむ熊谷家族の会等への協力（シナプソロジー）：適宜
(5) ニャオざね元気体操との協力：ニャオざね体操は毎週月曜日10：00～11：00

【活動場所】

〔太田公民館、しあわせの里〕（JR高崎線籠原駅より車で9分/JR高崎線籠原駅より車で12分）
〒361-0231/360-0235 熊谷市飯塚1410-1/熊谷市原井169

【設立の経緯・プロセス】

地域包括支援センターの認知症地域支援推進員として妻沼圏域初めてのオレンジカフェを立ち上げるために、認知症サポーターである民生委員の方に声を掛け、知人が集まり、地域での課題を何度も話し合い「チームオレンジめぬま」が結成されました。

【本人・家族の関わりの状況】

オレンジカフェに参加していただいたり、ご本人や家族の困っている事を傾聴し「地域包括支援センター」や「認知症とあゆむ家族の会」等へ要望や必要に応じて関連機関に繋ぐ

【今後の展望・課題】

(1) 認知症のシンボルカラーであるオレンジの花（マリーゴールド）を育て、オレンジカフェで絵手紙作りをし、周知活動をする
(2) 本人の夢をかなえるプロジェクト
(3) 近隣の市町村や長寿回・認知症あゆむ家族会等との連携をし、ネットワークを拡大していく

チームオレンジともに

【基本情報】

市町村名	熊谷市	人口	19.1万人
担当部署	福祉部長寿いきがい課		
担当部署	048-524-1111	chojuikigai@city.kumagaya.lg.jp	

【目的・コンセプト】

目的：認知症の人の声を聴き、「希望」や「困りごと」についてチームでできることを一緒に考えて活動する。地域のさまざまな個人や団体と連携して活動の輪を広げることをめざす。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	毎月1～2日程度
(1)	「認知症とあゆむ熊谷家族の会」の定例会「つどい」協働（毎月第3水曜）
(2)	「サロンともに」企画・運営を含めての協働（6月、9月、12月、1月、第1土曜）
(3)	一人、又は一家族を中心にしたパーソナル認知症カフェの企画・参加日時は未定（食事会、お花見、森林浴、紅葉散策など）
(4)	協力団体等開催のカフェ参加、認知症関連講演会参加
(5)	

【活動場所】

【熊谷コミュニティセンター/必要に応じて市内、市外への移動】（JR高崎線熊谷駅より車で6分）
〒360-0042 熊谷市本町1丁目9番地1

【設立の経緯・プロセス】

「認知症とあゆむ熊谷家族の会」への参加者の中で、MCI程度の認知症の人や、高齢で会への参加が難しくなりつつある家族がいる。その方たちへ早期からの支援や、社会参加など身近な所からの取り組みができないだろうか、さらに楽しみや生きがいをもって日々の生活を充実できたらどんなに良いだろうかとの思いがあった。市の担当者に相談、家族会の中で認知症サポーターステップアップ講座を実施（認知症本人含む）して立ち上げに至った。

【本人・家族の関わりの状況】

- ・認知症の宣告から孤立無援の戦いをしてきた本人が、信頼できる仲間を得たことで、すべてに前向きに取り組むようになった。チームメンバーから「変わったね」という言葉かけあった。
- ・家族は本人がメンバーと共に活動することに安堵している。
- ・チームメンバーも共に活動を楽しんでいる。

【今後の展望・課題】

(1)	(1) 本人、家族、チームメンバー全員が気軽に参加できて、楽しめるような取り組みをする。
(2)	(2) 他のチームとの情報交換、情報共有を行い今後の活動に活かしていく。
(3)	(3) 地域の団体や個人との連携の中で活動する。

チームオレンジほんじょう

認知症になってもお互い様、笑顔あふれる本庄市

【基本情報】

市町村名	本庄市	人口	7.7万人
担当部署	福祉部高齢者福祉課		
担当部署	0495-25-1722	kourei@city.honjo.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症になってもお互い様、笑顔あふれる本庄市」をコンセプトとして、認知症があっても、尊厳と希望を失うことなく、役割や社会とのつながりを持ちながら、家族や友人、ご近所の人たちと、安心して笑顔で暮らし続けることができる本庄市を目指して活動を行っています。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	月1回の定例会（曜日、日付は不定期）
(1)	誰でもふらっと立ち寄れる居心地の良い居場所づくりの企画・運営
(2)	認知症普及啓発イベントを活用した認知症サポーターの周知
(3)	ボランティア活動に関する情報交換
(4)	
(5)	

【活動場所】

【本庄市役所】（JR本庄駅より徒歩10分） 〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3
--

【設立の経緯・プロセス】

平成30年度より、ボランティア登録した認知症サポーターを対象に、活動報告や勉強等の目的で意見交換会を開催。令和5年度より、認知症サポーターステップアップ講座において、チームオレンジについての講義を行い、従来の意見交換会の形を変えチームオレンジほんじょうを設立し、認知症サポーターの活動場所としている。

【本人・家族の関わりの状況】

認知症の人もチームメンバーとするが、現在のところ、本人からの参加はない。

【今後の展望・課題】

(1)	認知症の方や家族がより参加し、共に活動できるよう、工夫や仕かけを検討する必要がある
(2)	オレンジサポーターの活動を通して、チームオレンジの考え方が地域に広がることを目指したい
(3)	

フラワーヴィラオレンジチーム

【基本情報】

市町村名	深谷市	人口	14.0万人
担当部署	福祉健康部長寿福祉課		
担当部署	048-574-8544	kaigo@city.fukaya.saitama.jp	

【目的・コンセプト】

参加者も、メンバーも全員がチームオレンジです！
楽しんで過ごす時間のお手伝いです。

【活動内容】

活動日時・活動頻度
(1) フラワーヴィラ花園テラスカフェ（毎週水曜日）
(2) カフェ・オレンジヴィラ（月末日曜日）
(3) 歌声カフェ花園テラス（月2回・金曜日）
(4)
(5)

【活動場所】

〔特別養護老人ホームフラワーヴィラ（活動拠点）〕（秩父鉄道小前田駅より徒歩15分）
〒369-1246 深谷市小前田2677番地

【設立の経緯・プロセス】

今から30年まえ（交流拠点であるフラワーヴィラ設立時）に、ボランティア同士の繋がりから、仲間づくりが始まり、すでにチームという形はできていました。
発足当初のボランティアの方々が、認知症のことを知りたい！（当時は痴呆症）という声が多くあり、ボランティアの方々が認知症の理解を深める中で、チームオレンジを立ち上げました。

【本人・家族の関わりの状況】

チーム員の当事者にも無理なく普通に役割を持ってもらうことは基本！特別扱いはしない。
認知症の方に対して、チーム員でさりげなく声を掛けるなど工夫し、自分がボランティアをして活動していると意識できるようにしています。また、チーム員全員で定期的に認知症のかたの理解と勉強会等対応方法を共有しあう機会を時々作っています。

【今後の展望・課題】

(1)
(2)
(3)

チームオレンジ下原

【基本情報】

市町村名	深谷市	人口	14.0万人
担当部署	福祉健康部長寿福祉課		
担当部署	048-574-8544	kaigo@city.fukaya.saitama.jp	

【目的・コンセプト】

さりげない声かけができる地域をつかっていきたい。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	毎週金曜日
(1)	認知症の有無に関わらず利用できる通いの場の運営
(2)	地域での見守り・声かけ活動
(3)	認知症への正しい理解の普及（「通いの場」での認知症サポーター養成講座等）
(4)	
(5)	

【活動場所】

〔下原集会所〕（高崎線籠原駅より徒歩11分） 〒366-0041 深谷市東方3644-111

【設立の経緯・プロセス】

地域の「通いの場」で、運営の中心となっている、ふっかファイン（介護予防サポーター）の方たちが、認知症になっても継続して、「通いの場」や地域で見守りできる環境を整えることを目指して、チームオレンジを立ち上げました。

【本人・家族の関わりの状況】

認知症の方に対して、チーム員で声をかけるなど工夫し、チーム全員で定期的に認知症の方の理解と勉強会等対応方法を共有しあう機会を定期的に作っています。

「通いの場」の休みが継続している人については、随時声かけを行う等地域でさりげなく見守りを行っています。また、「通いの場」以外でも、地域の見守りや声かけを行っており、チーム員同士で情報を共有しています。

【今後の展望・課題】

(1)	地域全体で見守りができるようにしていきたい。
(2)	チームオレンジの活動を広げていきたい。
(3)	

チームオレンジ"もとすみ"

【基本情報】

市 町 村 名	深谷市	人 口	14.0万人
担 当 部 署	福祉健康部長寿福祉課		
担 当 部 署	048-574-8544	kaigo@city.fukaya.saitama.jp	

【目的・コンセプト】

一人ひとりが、一人ひとりを温かく迎えいれましょう。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	毎週月曜日、第2、第4土曜日
(1)	通いの場での支援
(2)	外出支援
(3)	地域での見守り・声かけ
(4)	話し相手
(5)	出前支援

【活動場所】

【本住町自治会館】（高崎深谷駅より徒歩8分）
〒366-0823 深谷市本住町7

【設立の経緯・プロセス】

地域の「通いの場」「集いの場」で運営の中心となっているボランティアのかたたちが、認知症の方とその家族が地域で安心して暮らせるように、支え合おうという趣旨で設立しました。

【本人・家族の関わり状況】

拠点である「通いの場」「集いの場」での支援のほか、常時の活動として、外出支援・見守り・話相手等も関りの対象としています。
また、認知度を高めるための周知活動として、広報誌を作成する等の活動をしています。

【今後の展望・課題】

(1)	会員の質量の拡充
(2)	「チームオレンジ」の認知度を高める活動
(3)	

広木ぱんだカフェ

～みんなおんなじ～

【基本情報】

市町村名	美里町	人口	1.1万人
担当部署	介護福祉課		
担当部署	0495-76-1325	hokatsu@town.saitama-misato.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症になっても安心して暮らしていける地域でありたい

【活動内容】

活動日時・活動頻度	毎月第2木曜日 13時から16時まで
(1)	認知症本人をカフェのスタッフに加えることで、社会性を維持していく。
(2)	参加者が認知症本人と関わりを持ちながら、将来の自分の居場所を作っておく。
(3)	地域の中で困りごと等を見つけたときはチーム員に連絡し連携を取り対応していく。
(4)	情報の共有を行い遠位見守りを行っている。
(5)	

【活動場所】

〔広木会館〕（JR八高線松久駅より徒歩30分）
〒367-0118 埼玉県児玉郡美里町大字広木2898-2

【設立の経緯・プロセス】

オレンジカフェが令和4年4月から始まり、認知症のかたもそうでないかたも家族も区別なく参加して1年が経過したところに、月に1度なので地域の情報支援や相談が必ず出されるようになった。カフェのメンバーがチームとしてまとまりつつあったため、チームオレンジとして活動していこうという流れとなった。認知症サポーター養成講座を1度、ステップアップ講座を2度実施し、チームオレンジ認定となった。

【本人・家族の関わり状況】

本人はカフェのスタッフとして生き生きと他者の注文を取り、配膳したりと忙しく活動している。家族はそれを見守りながらも、カフェの参加者と会話を持ち、自分の体験談や愚痴をこぼしつつ楽しく参加している。ほとんどの方が毎回参加をしている。

【今後の展望・課題】

(1)	広木という地域で固まりつつあるので、近くの他地域からの参加も受け入れたい。
(2)	この活動が、ほかの地域にも広がり、チームを増やしていけたらと考えている。
(3)	